

男声合唱団ススキーノと共に

Kineo YAMAZAKI
山崎 甲子男



コミュニティFM「ラジオカ
ロスサッポロ」(78.1MHz)
の毎週火曜・午後7時～
8時の生放送「男声合唱
団ススキーノと共に」は、

2007年4月24日スタート以来今年で15年目、1月4
日で760回目を迎えることができました。

当初、番組のコンセプトは「合唱団員による合唱団
員の紹介」で団員の生い立ち、仕事や生きがい、好き
な合唱曲や思い出の音楽を紹介しておりましたが、1年
半後、70数人の全団員の出演が終わると、様々なジ
ャナルのプロ、アマの音楽家や、音楽愛好者に範囲を
広げてゲストにお招きしてきました。

山崎ハコさん、元ふきのとうの山木康世さんは2回出
演して生演奏してもらいましたし、札幌のコンサートマ
スター・大平まゆみさんはヴァイオリンの生演奏、日本を代
表する作曲家・池辺晋一郎さん、85歳の演歌のミリオ
ンセラーの作曲家・彩木雅夫さんにもご出演いただきま
した。

指揮者の長内 勲先生は100回、300回、500回
にご出演いただき、600回は長内先生が体調不良で
台湾演奏旅行を指揮した石田久大先生(教育大旭
川校教授)が出演しました。

最高齢団員は90歳！

また、ススキーノの団員は企業の役員に就任したり、
転勤、転職、定年退職など、身近に変化があった方に
出演していただきました。最高齢は長く男声合唱
団員でもある90歳の元銀行員です。中には逝去され
た団員のお通夜に出演した時の放送同録CDを流し
たり、急逝したミュージシャンの追悼ライブで放送同録CD
をかけていただいたり、追悼の再放送をしたこともありま
す。また、放送後にはススキーノのHPの「団員専用ペ
ージ」や私のfacebookやmixiのウォールに放送内容をア
ップして毎週100～200件の「イネ」や多数のメッセ
ージをいただいております。

放送中にリスナーからメールをもらったり、モンゴルに長
期滞在中の団員や台湾の演奏旅行で知りあった合唱
団のメンバーからメッセージをもらったこともあります。

どこからでも聴けるグローバルメディア

今や、地域FM「ラジオカロス」はパソコン(サイマルラジ
オ)やスマホ(リスンラジオ)の無料アプリで聴くことができ、
youtubeの画像でも観ることができるグローバルメディア
なのです。しかし、新型コロナの感染拡大で、録音によ
る放送はなくなり、すべてが生放送でミキシング卓の操
作も自分でやっております。

ススキーノは東京、室蘭などの演奏旅行など年内8つ
のステージ、練習もすべて中止となり、去年10月に再
開した練習も今年1月からのオミクロン株の感染拡大で
再び中止となりました。

団員のモチベーションアップに…

私は去年9月から「ラジオを通じてもう一度ススキーノ
のメンバーに出演いただき、ススキーノで歌った、演奏曲
を選曲してもらいその思い出を話してもらいモチベー
ションを高める」というコンセプトで毎月団員に出演を願
っております。

コロナ禍で退団したいという話も聞くようになり、何とか
ススキーノの演奏曲を通じて団員を励まし、モチベー
ションを高めて、コミュニケーションを深めたいという思いや、
男声合唱の素晴らしさをラジオリスナーの皆さまに伝えて
いきたいという思いもあります。

実は私は去年11月17日で「傘寿」を迎え、現在81
歳。そろそろエンディングを考えるとところですが、もうひと踏
ん張り、この番組をライフワークとして続けさせていただ
く決意をしました。



【著者プロフィール】

1940年生まれ。札幌出身。早稲田大学混声合唱団では大学
創立80周年フロイデハーモニーで小澤征爾さんの指揮で「第九」
を歌う。STV(札幌テレビ放送)に入社して放送記者、テレビ、
ラジオのディレクター、プロデューサーとして音楽番組を手掛ける。
ラジオ日本常務取締役編成局長などを経て、現在ラジオカロス
サッポロ・エグゼクティブプロデューサー兼パーソナリティ。2005年に
男声合唱団ススキーノに入団して、2008年サントリーホールで
「男だけの第九」(新日本フィル)を歌う。